



第837号2014.10.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



天神町で、アジア・アフリカ救援米稲刈り

大人・子ども総勢46人が汗を流して収穫



2014年度のアジア・アフリカ救援米運動の稲刈りが、9月最終日曜日の28日午前、大人、子ども総勢46人が天神町反町さんの田んぼに集って行われた。前々日まで雨に見舞われ稲刈りが心配されたが、反町さんの管理が行き届き、無事に手刈りと機械作業を体験できた。



9時過ぎから参加者が集いはじめ、40分の開会式で矢島実行委員長は「手植えした田んぼは成長が良すぎ、この田んぼを準備していただいた。楽しく収穫作業を行い、救援米として届けたい」等の挨拶を述べた。続いて、

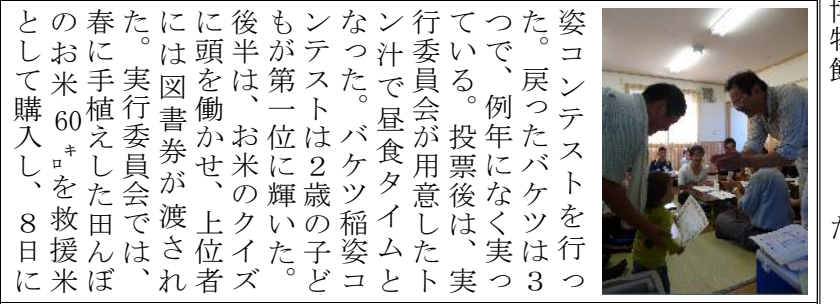
開会式の後は、太田さん(県職労)から、鎌の使い方や刈り取り方法の手ほどきを受け、記念撮影後は、鎌を片手に作業が始まった。コンバインが始動し、反町さんと一緒に子どもが乗り込み手刈りと機械作業の並行作業が危険を予知しながら始まった。4条がりのコンバインと40人の手刈り隊は比較にならない。手刈り稲の脱穀を含めて、約50分で15坪の稲刈りを終えた。コンバインにのった子供たちも思い

て、協賛団体の太田生協中越センター長と田んぼを快く提供いただき、今日まで管理と準備をいただいた反町さんが「今年の作柄はやや良いといわれているが、手植えの田んぼは大きな株に育ち、生育が良く倒伏したので刈り取りこの田んぼに乗りたい子どもさんは是非体験してほしい」旨の挨拶が述べられた。



10月7日、青色発光ダイオード(LED)開発で赤崎氏、天野氏、中村氏の3氏がノーベル物理学賞を受賞した。TVや新聞でも青色LEDが頻りに扱われた。赤色や緑色LEDは既に開発されていたが、青色は20世紀中の開発は難しいと言われてきたようだ。その青が開発されたことで白色が可能となり、青色・赤色・緑色の光の三原色(40年も前に学んだはず)をLEDでフルカラー表現が可能となったという。▼インタビュウでは「何とも根気よく続けることが大切」「信念を持ち「あきらめるな」」「1人でできた仕事でない」等を述べられていたようだ。この言葉は日本人だなあと感じさせられた▼先日博物館

で、東京オリンピックと新幹線展をちらっと見た。終戦から19年目に開催された東京オリンピック(64年10月10日開催)は、経済復興をアピールする国家的事業で、東海道新幹線は開業の1日に開業した。生活も社会も大きく変化する転換点となった事が感じ取れた。▼氷の箱から冷蔵庫。7時間弱かかった新大阪まで時速210キロで4時間、今では270キロ約2時間半。白熱灯からLEDへ変わった。明治34年報知新聞の記事に「20世紀の豫言」というものがあった。現在実現しているものが多く、人間の考える未来は、実現するものだらう。LEDに変えながら明るい未来を予測したいものだ。



姿コンテストを行った。戻ったバケツは3つで、例年になく実っている。投票後は、実行委員会が用意したトシ汁で昼食タイムとなった。バケツ稲姿コンテストは2歳の子どもが第一位に輝いた。後半は、お米のクイズに頭を働かせ、上位者には図書券が渡された。実行委員会では、春に手植えした田んぼのお米60kgを救援米として購入し、8日に

事務局長 小林 守

ながおかLSCホームページ
<http://www.nagaoka-lsc.jp/>
mail:nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp
QRコード
©パソコン・携帯から閲覧可能。通信料は利用者の負担です

連合新潟へ届けた。次年度以降のアジア・アフリカ救援米運動は連合新潟で検討されているが、中越地協は農業・食料・環境の位置づけで検討したい。

サラリーマン川柳(葉っぱ散るでも春芽吹く。パパいいねー)(妻寝息 虫の音減って眠れない)(金曜日 咳して帰り 月休み)(助手席で 新聞広げる 古女房)

サラリーマン川柳 (運が悪い 人で成りたつ 宝くじ) (熊が出た 熊から見れば 人が出た) (ケンカして わかった妻の 記憶力) (うちのポチ 聞こえぬ振りも 俺に似る)

■試験日時
2014年11月23日(日・祝)

■申込受付期間
9月12日(金)～10月26日(日)
先着順。定員になり次第締め切ります。

■初級検定
AM9:20～AM11:35
(受付開始8:50)
講習 60分 & 検定 45分
検定料:2,000円(税込)

■検定会場(新潟)
新潟東映ホテル・2階 朱鷺の間
新潟市中央区弁天2-1-6
最寄駅:新潟駅 万代口(徒歩5分)

ワークルール検定

2014秋 へ初級

正社員はもちろん、パート、アルバイト、学生、派遣社員、そして管理職の方々まで、
どなたでも職場で役立つ法律知識を身につけられます!

自分を守る! 仲間を守る!
働きやすい職場をめざす!

【主催】ワークルール検定中央実行委員会
NPO法人 職場の権利教育ネットワーク
日本労働組合総連合会(連合)
労働者福祉中央協議会
公益社団法人 教育文化協会
公益財団法人 日本労働文化財団
NPO法人 働く文化ネット、働旬報社

【運営】ワークルール検定2014・秋 新潟運営委員会
連合新潟、新潟県労働協



詳しくは、ワークルール検定公式ウェブサイトまで
<http://workrule-kentei.jp/>

推薦候補者
連合新潟



久住 時男
無・現3・64

見附市長選挙候補者

見附市長選挙・見附市議会議員選挙
10月19日 告示・26日 投票



木原 大輔
無(民)・現1・37



佐々木志津子
無(民)・現4・60

見附市議会議員候補者

「期日前投票」を活用しよう!

「期日前投票」の方法
投票日に投票に行けない方は前もって投票しましょう。
手続きはかんたんです。

投票に行こう!

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
- 旅行などの予定が入っている方
- 入院や出産などでその日に投票に行けない方

- ◆投票できる期間は、告示日の翌日から投票日の前日まで
- ◆投票できる時間は8:30～20:00までです
- ◆投票場所は、選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」です
- ◆詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください



★相談会の相談事例

労働者個人から・・・

- ・使用者から退職強要を受けている。退職しなければならぬのか。
- ・会社に退職金を請求したところ、支払えないと言われた。
- ・パートタイムで働いているが、事前に何の説明もなく時給を下げられた。
- ・上司から些細なことで罵倒されるなどのパワハラを受けている。

使用者から・・・

- ・従業員と労働条件の変更について話し合っているが、円満に進まない。
- ・社外の労働組合から団体交渉の申し入れを受けた。交渉しなければならぬのか。

労働組合から・・・

- ・会社から賃下げを内容とした給与体系の変更を提案されている。
- ・会社と一時金について交渉していたが、一方的に打ち切られた。

★個別労働関係紛争あつせん

◎ 個別労働関係紛争あつせんは、労働者個人と事業者の間に発生した紛争について、労働委員会のあつせん員3名(公益委員1名、労働者委員1名、使用者委員1名)が、労使双方からお話を聞いて、公正・中立な立場で、紛争解決のお手伝いをする制度です。労働者・事業者いずれからも申請できます。
費用は無料、秘密は固く守られます。

◎ あつせんの流れ

- 申請 労働委員会に直接申請、または県の労働相談所を通じて申請。
- 事務局調査 事務局職員が申請の相手方を訪問・事情聴取。あつせん参加を促します。
※申請の相手方があつせんに応じない場合、あつせんは打ち切りとなります。
- あつせん活動 あつせん員が双方の主張をお聞きして、双方の歩寄りによる解決に向けて働きかけます。
- 解決 双方の歩寄りにより合意した場合は、確認書を作成し、紛争解決。
※双方の主張の隔たりが大きく解決の見込みがない場合は、あつせんは打ち切りとなります。

■ 労働委員会は、弁護士や大学教授などの公益委員、労働組合役員などの労働者委員及び企業や経営者団体の役員などの使用者委員の各5名からなり、労働者や労働組合と使用者の間のトラブルを解決するための、行政機関です。
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
新潟県労働委員会事務局(新潟県庁16階)
☎025-280-5544 又は ☎025-280-5546

■ 県の労働相談所では、労働紛争全般について、無料で相談に応じています。
新潟労働相談所(新潟地域振興局内) ☎025-232-6110
長岡労働相談所(長岡地域振興局内) ☎0258-37-6110
上越労働相談所(上越地域振興局内) ☎025-526-6110

費用無料 秘密厳守 労使間の問題でお悩みではありませんか?

新潟県労働委員会の委員による 労働トラブル相談会

労働者・事業者の皆様からの相談をお待ちしています。



日時	新潟 10月 5日(日) 13:30～16:00	新潟県庁 16階 県労働委員会 新潟市中央区新光町4-1
会場	上越 10月19日(日) 13:30～16:00	上越市市民プラザ 第5会議室 上越市土橋1914-3
会場	長岡 10月26日(日) 13:30～16:00	長岡地域振興局 県民相談室A 長岡市四郎丸町173-2

- 内容 解雇、賃金未払い、退職金、パワハラなどの労使間トラブル
(採用に関するものは除きます。)
★相談の内容によって、労働委員会の「個別労働関係紛争あつせん」を御案内いたします。(裏面を参照)
- 相談時間 1人当たり約30分
- 相談員 労使関係に豊富な知識と経験がある、
公益委員(弁護士等)・労働者委員(労働組合役員等)・使用者委員(会社役員等)
- お申込み 事前にお問い合わせください。予約時間をお知らせします。
(当日、会場での申込みも可能ですが、お受けできないことがあります。)

★お申込み・お問い合わせ
新潟県労働委員会事務局(県庁16階)

☎025-280-5546 (土・日・祝日は除きます。)

